

「悪気のない」表現にご注意!

「あいつの地雷踏んだわ」

この文章が一体何を伝えたいのか分かりますか。
辞書に載っている意味では、「地雷」とは「地中に埋めておき、人や戦車などがそれを踏むと爆発する仕組みの爆弾」です(デジタル大辞泉)。しかし、冒頭の表現ではそのような意味ではありません。

発言には想像力を持って

例に挙げた「地雷」の他にも「イベントに参加する」「帰宅難民」など、本来戦争に関連する言葉が比喩表現として使用されることがあります。これらはどれも私たち日本人からは縁遠いものと考えて、今まで無邪気

に使っていたという人もいるでしょう。

しかし、海外に目を向けると、今もなお「地雷」は少なくとも55の国と地域で使用され、一日あたり約16人が地雷や不発弾の被害に遭っています(Landmine Monitor 2024)。

「参戦」「難民」についても同様に、自身や家族が戦争に巻き込まれたり、迫害や暴力によって故郷を追われたりしている人がいます。

気の知れた友人同士の会話であっても、ましてや全世界の人々が目にする可能性のあるSNSでは特に、そうした背景を持つ人が身近にいるかもしれません。

その言葉を使うことに一切悪気がなくても、その言い方がふさわしいのかどうか、発言の前に一度考えてみましょう。

表現は自由だからこそ

「言葉狩りだ」という意見もあるでしょう。しかしながら、

「問い合わせ先」
人権啓発・男女共同参画推進課
☎0968(25)7209

こういった表現は「どうしてもその単語を使わないと表現できないものではないと思います。日常的な会話でもSNS上でも、発言・投稿の前に、自分が本当に伝えたいことがその文章で表現されているか、頭の中で読み返してみるのが大切です。今まで無意識に使っていたという人は、この機会に言葉が持つ本来の意味について、少し立ち止まって考える時間を作ってみてはいかがでしょうか。表現は自由だからこそ、「誰に向けて」「何を」「どう表現するのか」、私たちには常に責任が伴うのです。



深掘り!

菊池川流域日本遺産エピソード〜伝説と文化をたずねて〜

【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515

◆第1回

阿蘇外輪山を源流として、有明海へと注ぐ熊本県北の大河・菊池川。その流域には、二千年にわたる米作りの営みによって刻まれた、大地の記憶が随所に受け継がれています。

平地には古代から伝えられる条里制による地割が広がり、山間部では高地での米作りを可能にした井手(用水路)や美しい棚田が存在します。また、海辺では干拓によって広大な農地が造られ、地域の歴史を物語っています。

これらの土地利用の痕跡は菊池川という一つの河川の流域内に凝縮されており、私たちは歴史の移り変わりを身近に感じることが出来ます。さらに、豊穡の地に根付くにぎやかな祭りや、地域特有の食文化といった無形の伝統文化も息づいています。

菊池川流域(菊池市、山鹿市、玉名市、和水町)は、日本の米作り文化の発展を物語る縮図であり、その歴史的な景観から農業がもたらした芸能や食の魅

力に触れることができる特別な場所といえるでしょう。

このような地域文化の豊かさは「米作り、二千年にわたる大地の記憶」菊池川流域「今昔『水稻』物語」というテーマでまとめられ、平成29年に日本遺産として文化庁から認定されました。

この連載では、菊池川流域日本遺産について、その魅力をより深く知ってもらうため、地域外にあまり知られていないさまざまなエピソードを来月から12回にわたって紹介していきます。(関連26頁)



菊池川流域日本遺産 構成文化財(一部)



富士式暗渠排水技術(菊池市)



菊池川下流域の船着場と港町(玉名市)



ガネめし(山鹿市、和水町)

農業委員会だより

「問い合わせ先」
農業委員会
☎0968(25)7235

令和8年度総会予定表(案)

総会月	議案書締切日	総会日
5月	4月22日(水)	5月11日(月)
6月	5月25日(月)	6月10日(水)
7月	6月25日(水)	7月10日(金)
8月	7月24日(金)	8月10日(月)
9月	8月25日(火)	9月10日(水)
10月	9月25日(金)	10月9日(金)
11月	10月26日(月)	11月10日(火)
12月	11月25日(水)	12月10日(水)
1月	12月21日(月)	令和9年1月12日(火)
2月	令和9年1月25日(月)	2月10日(水)
3月	2月25日(水)	3月10日(水)

市農作業受託料(参考) (10a当たり消費税込み)

作業別	条件	金額
耕起	—	6,050円
代かき	—	10,450円
田植	植え付けのみ	10,450円
防除	1回当たり(薬剤代別)	2,300円
稲収穫	カッター(運搬費含む)	14,850円
	倒伏田カッター(運搬費含む)	上記の2.5割~5割増し(倒伏状態による)
麦収穫	運搬費含む	10,450円
大豆収穫	運搬費別	8,800円
乾燥	乾燥(米)	2,035円/1俵

上記の金額は、ほ場整備地区を基準とした受託料です。作業条件(農地の形状や面積の大小など)および経済的変動(燃料や資材の高騰など)を考慮し、お互いの合意の上で決定してください。また、農業委員会では、農作業受託料に関しては一切関与しません。

産官学金でまちづくり⑦

【問い合わせ先】
市長公室
☎0968(41)4488

市では、市民サービスの向上や地域活性化を目的に、企業や大学、各種団体などと包括連携協定を締結しています。連携事業による取り組みを隔月で紹介します。

◆あいおいニッセイ同和損害保険

あいおいニッセイ同和損害保険(株)は、「グローバルな保険・金融サービス事業を通じて、安心と安全を提供し、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます」を経営理念に掲げています。事故発生後の補償だけでなく、事故そのものを減らす安全運転の普及や、より良い地域社会づくりに貢献することを目指しています。

菊池市とは、令和3年11月に包括連携協定を締結し、①地域・暮らしの安全・安心 ②防災・災害対策 ③地方創生に資する取り組みの3点を目的として連携を進めています。

令和4年からは、市内小学校でSDGsに関する出前授業を年間10回程度実施しています。授業では活発な意見交換が行われ、「これからは食べ物を残しません」「水を大切にします」といった頼もしい声が多く上がりました。SDGsを「自分ごと」として捉え、理解を深めてもらう貴重な機会となっています。

また、今年1月には、菊池市を含む自治体を対象とした安全運転大会「セーフタウン&エゴドライブコンテスト」を実施し、約千人に参加いただきました。参加者の走行データをもとに、急ブレーキや速度超過が多い箇所を特定した「交通安全マップ」を作成し、安全運転に役立つ資料として提供しています。

今後も弊社は、地域・社会の皆さまと共に、安全安心で快適な社会の創造に貢献できるよう努めてまいります。

令和4年からは、市内小学校でSDGsに関する出前授業を年間10回程度実施しています。授業では活発な意見交換が行われ、「これからは食べ物を残しません」「水を大切にします」と



小学校での出前授業